

日本海洋科学振興財団

## 海外渡航費用援助 報告書

2023年 7月 24日

氏名 大槻 哲

所属機関(院生は大学院と研究科名) 福島大学大学院 理工学研究科

職名(学生は学年) D2

渡航期間 2023年 6月 2日ー 2023年 6月 11日

渡航先\* スペイン イスラス・バレアレス パルマ

渡航目的:

国際学会『Association of the Science of Limnology and Oceanography Aquatic Sciences Meeting 2023』でのセッション『SS110B Contaminant Fate and Transport in Aquatic Systems and Their Interactive Effects on Ecosystem Functioning』にて、『Distributions of tritium in the marine water and biota around Pacific Ocean near North East Japan』の口頭発表

成果:

セッション主催グループ外からの発表であるにもかかわらず、オーガナイザーの Christopher Filstrup 博士に暖かく迎え入れていただき、初めての国際学会での口頭発表を行うことができました。質疑もあり、ちょうどデータ数の少ない点だったので今後の研究に役立てていきたいと思います。国際学会での発表スライドの作り方と比べ、自分のスライドは非常に幼く感じました。また、原稿を読むという形式でしか発表できなかったため、上手く『語る』ことができなかったことを反省しています。プレゼンの練習を積んでいきたいと思いました。ポスターセッションでは、多くのポスターを見学しました。内容は様々でありここで詳細を述べるつもりはありませんが、特に『魅せ方』について学ぶことができました。総じて、見やすさ、分かりやすさをより考えなければならぬと感じました。

感想: 福島の話を出すたびに、前列に辛そうな表情をする方がいらっしまったのが印象的でした。確かに福島第一原発事故は痛ましいものですが、チェルノブイリとは異なり復興が進められていることをアピールすることも日本人として必要だったと感じました。